

熊本天草幹線道路(本渡道路(仮称))検討委員会

第 3 回資料

アンケート調査結果

平成 22 年 2 月 16 日

1. アンケート調査概要

(1) アンケート調査の目的

- 検討委員会は、「道路管理者(熊本県)が、地域住民等の意見を把握してより良い道路計画を策定するにあたり、客観的な立場から助言を行うこと及び地域住民等の意見を基に、道路計画において特に配慮すべき事項等についての助言」をとりまとめることを目的としています。
- より良い道路計画を策定するためには、「どのようなことに配慮して計画をつくれればよいのか」という配慮の中身や重要の度合いを検討する必要があります。
- 今回のアンケート調査では、上記の配慮の中身や重要の度合いについて、地域住民等の意識を把握することを目的とします。

(2) アンケート調査の視点

- 検討委員会で検討した「本渡道路(仮称)における配慮の方向性」に関する意識の把握、およびその他の配慮事項の把握
- 本渡道路(仮称)に対する期待(求められる機能)の把握
- 本渡道路(仮称)の必要性に関する意識の把握

(3) アンケート調査対象と調査方法

第1回検討委員会の検討内容を踏まえて、アンケート調査対象と調査方法を以下のように設定しました。

表-1 アンケート調査対象と調査方法

調査対象	調査方法	期間
①天草市・苓北町の地域住民 (20才以上から無作為に抽出)	・ 天草市・苓北町に依頼し、地域ごとに1,400人を無作為に抽出し、合計5,600人を対象者とする。 ・ 対象者に郵送でアンケート調査票を配布・郵送などで回収。	1/5～1/31
②上記以外の地域住民等	・ 天草市役所・各支所、苓北町役場(合計11箇所)に調査票を配置、回収ポストを設置・回収。 熊本県天草地域振興局のホームページでアンケート調査。	1/5～2/12
③天草地域への来訪者等	・ 道の駅、主要観光施設(道の駅有明、天草いるかワールド、本渡歴史民俗資料館、五和歴史民俗資料館、天草ロザリオ館、うしぶか海彩館・漁業史資料館、苓北町物産館、海の駅上天草物産館 さんばーる、天草四郎メモリアルホール; 合計9箇所)に調査票を配置、回収ポストを設置・回収。 ・ 熊本県天草地域振興局のホームページでアンケート調査。	1/5～2/12

アンケート回収状況

- ①住民配布アンケートは**2,871**部回収でき、全エリア、地域別の回収目標枚数**400**部(統計的な精度確保に必要な数)を上回っているため、統計的に天草地域の声を代表すると見なせる。
- 天草市役所・各支所、苓北町役場で**209**枚、道の駅、主要観光施設で**293**枚、ホームページで**40**枚(合計**542**部)の回答を得た。

表-2 回収状況

種別	エリア	地区	回収枚数	配布枚数	回収率	備考
①地域住民 (無作為抽出)	上島	1. 旧有明町	173	732	1,400	52.3%
		2. 旧御所浦町	67			
		3. 旧倉岳町	77			
		4. 旧栖本町	71			
		5. 旧本渡市・上島	344			
	本渡	6. 旧本渡市・下島	680	680	1,400	48.6%
	牛深	7. 旧牛深市	252	634	1,400	45.3%
		8. 旧新和町	60			
		9. 旧河浦町	185			
		10. 旧天草町	137			
	苓北・五和	11. 旧五和町	345	653	1,400	46.6%
		12. 苓北町	308			
不明・他	その他	13	172	-	-	
	不明	159				
計			2,871	5,600	51.3%	
②	①以外の地域住民		376	-	-	
③	天草地域への来訪者等		166	-	-	

注)その他は、旧11市町以外の市町と回答、不明は回答が未記入

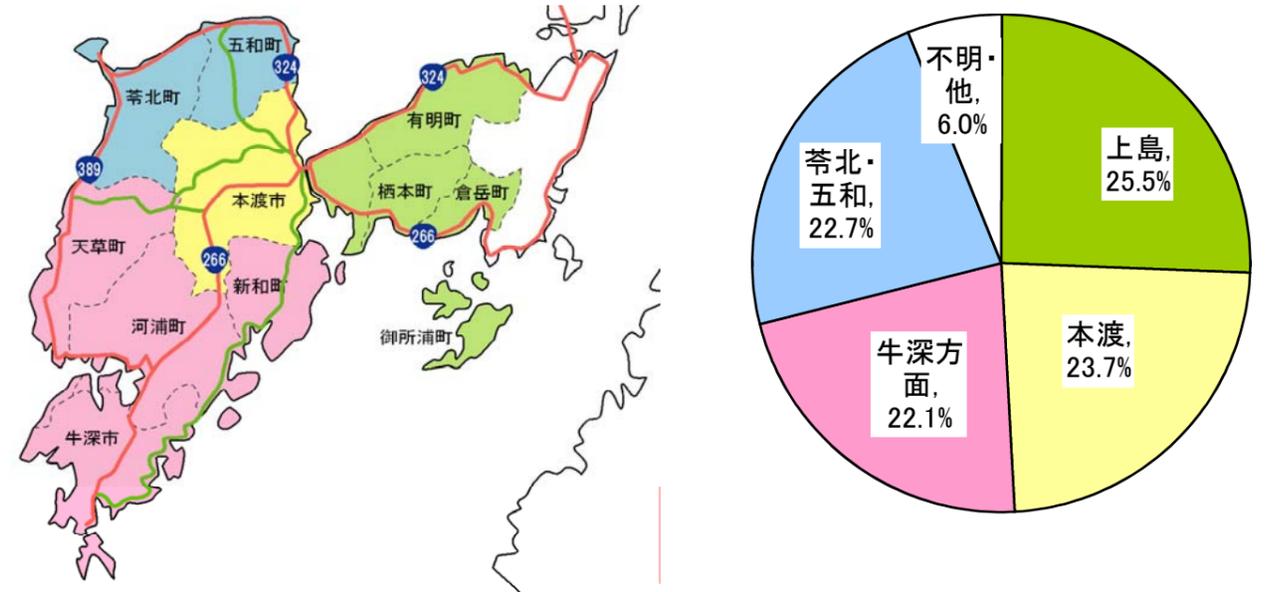


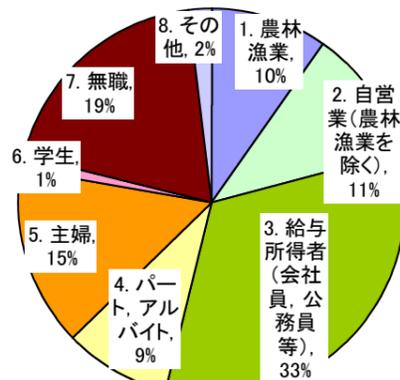
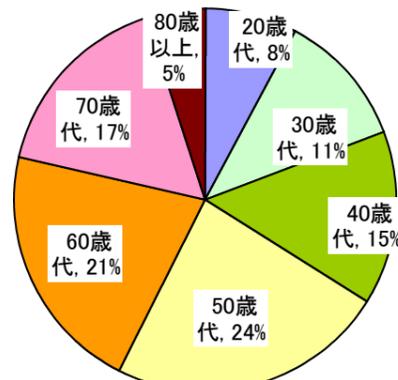
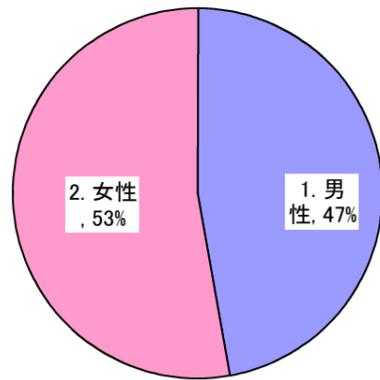
図-1 地域区分と地域別回収割合(天草市内は旧市町名)

アンケート調査結果まとめ

(①住民配布アンケート配布アンケート調査結果を単純集計したもの)

I 回答者の属性

- 性別は男性**47%**、女性**53%**と人口構成(男性**45%**、女性**55%**)に比べ、若干男性の割合が高い。
- 年齢構成は、実際の年齢構成とおおむね一致している。その中で、若干**50歳代～60歳代**の割合が高く、**80歳代以上**の割合が低い。→性別・年齢構成でも地域を人口構成を代表している。
- 給与所得者が**33%**と最も多く、無職、主婦、自営業(農林漁業除く)、農林漁業の順になっている。
- よく利用する交通手段がマイカーの人が**8割**を上回る。また、自分で自動車などを利用する割合は**8割**を上回り、そのうち、**9割**が週に**4日**以上自動車を利用している。→自動車交通への依存度が高い。



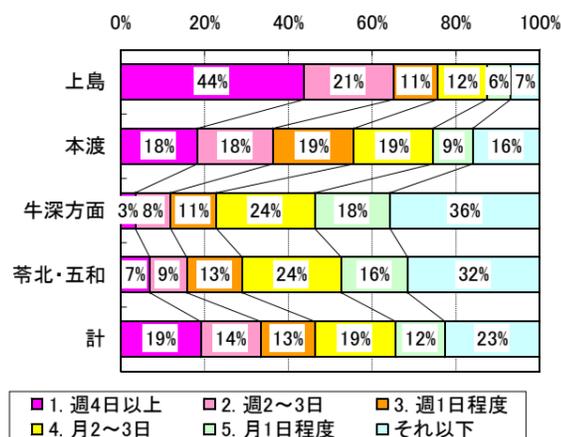
性別

年齢

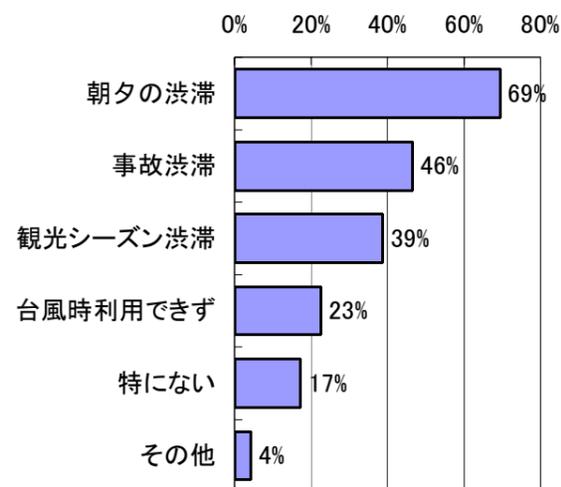
職業

II 天草瀬戸大橋の利用状況と利用して困ったこと

- 地区別の利用頻度の差は大きく、上島、本渡地区で多く、牛深方面、苓北・五和方面では少ない。
- 「朝夕の渋滞」、「事故渋滞」、「観光シーズン渋滞」など、**渋滞で困ったことがある人が多い**。



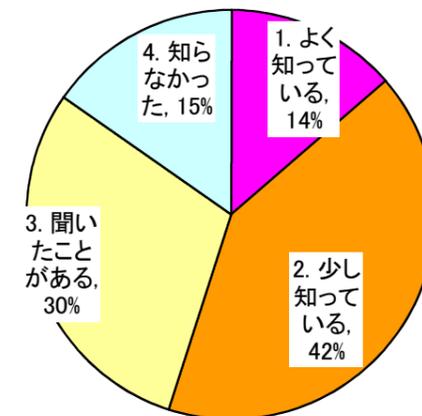
天草瀬戸大橋の利用頻度



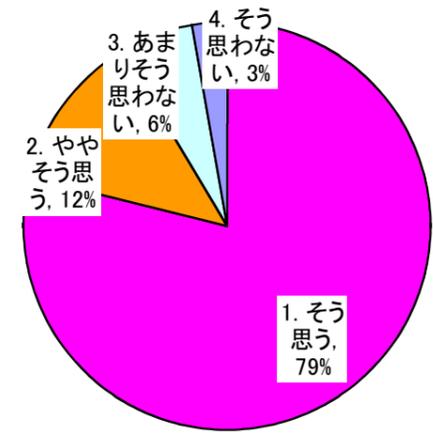
利用して困ったこと

III 「熊本天草幹線道路」本渡道路(仮称)について

- 「計画状況も含めよく知っている」、「少し知っている」を合わせた割合は**6割弱**となっている。一方で、**15%**が今回初めて知ったと答えている。
- 『新たに上島～下島を結ぶ熊本天草幹線道路』を整備する必要があると思う回答者は、「そう思う」**8割**と、「ややそう思う」**1割**を合すると**9割**を上回り、**本渡道路(仮称)に対する期待は大きい**といえる。



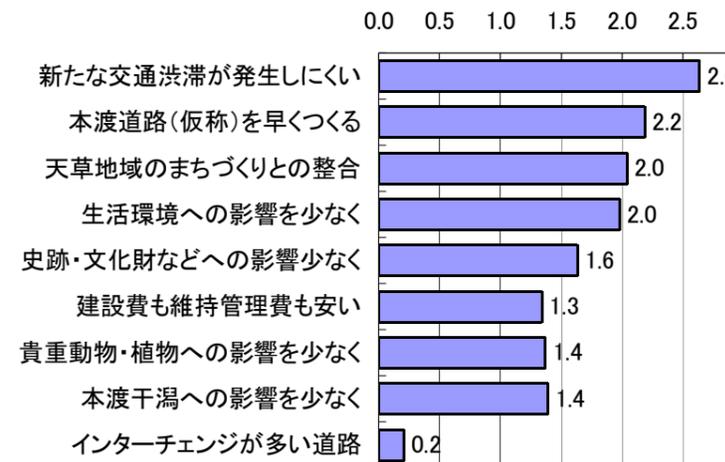
本渡道路(仮称)の認知状況



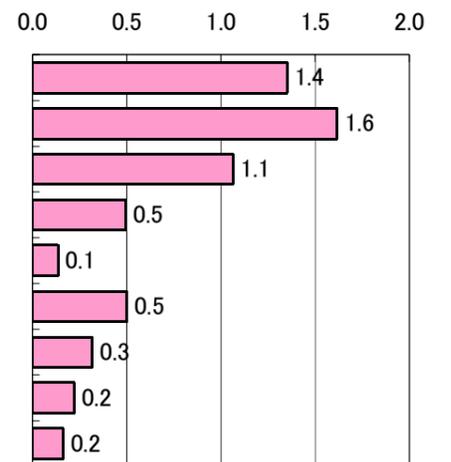
本渡道路(仮称)の必要性

IV 本渡道路(仮称)整備における配慮項目

- 配慮すべき項目は、「新たな交通渋滞が発生しにくい」、「本渡道路(仮称)を早くつくる」、「天草地域のまちづくりとの整合」、「生活環境への影響を少なく」の順に重要と思う割合が高い。
- 優先すべきとされた**3項目**は、重要性の評価も高いことから、**ルート帯の評価においてはこれらの3項目を特に重視することが重要**と考えられる。
- 一方で、重要と思う割合が高かった「生活環境への影響を少なく」などの優先度は低い。これは、「他の項目も配慮できるのであれば、当該項目に配慮することが重要」と考えて評価していることに起因していると考えられる。**上記、3項目を満足したうえで配慮すべき項目である**と考えられる。



重要度の評価



優先度の評価

本渡道路(仮称)を整備するにあたっての配慮項目に関する意見と対応

配慮項目に追加すべき事項

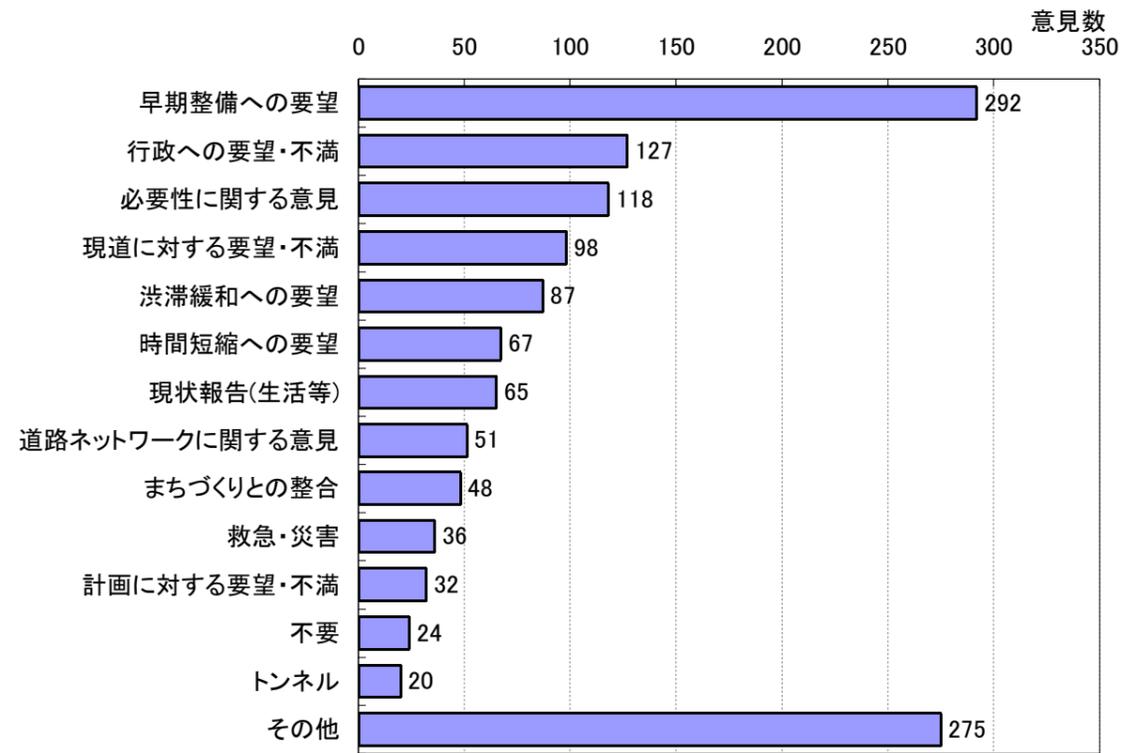
- 地域住民の回答者2,871名のうち、148名(5%)が、195件の追加事項を記載していた。
- そのうち、計画の前提とした項目が58件(30%)、配慮項目として記載している内容と同一のもの40件(21%)で、合わせると98件(51%)と過半数を占めている。
- 記載事項以外の「他の配慮項目」に関する意見は、通行料金や自然景観への配慮など大きく8種類に区分できる(34件:17%)が、いずれもルート位置に関わらず設計・事業化段階において配慮すべき事項であるため、新たな配慮項目としての追加は行わない。

配慮項目の追加事項に関する意見

区分	名称	意見数	割合
計画の前提とした項目	1 救急・災害	17	58 30%
	2 2車線化	11	
	3 安全・安心	9	
	4 渋滞緩和への要望	8	
	5 道路ネットワークに関する意見	7	
	6 快適性・利便性	3	
	7 自然環境への配慮	3	
アンケート項目	1 早期整備への要望	20	40 21%
	2 まちづくりとの整合	9	
	3 時間短縮への要望	6	
	4 費用	5	
他の配慮項目	1 通行料金	9	34 17%
	2 自然景観への配慮	7	
	3 トンネル	6	
	4 歩道・自転車道	4	
	5 わかりやすい標識	4	
	6 サービスエリア	2	
	7 ETC	1	
	8 インターチェンジの設置	1	
その他	1 必要性に関する意見	28	63 32%
	2 現道に対する要望・不満	11	
	3 計画に対する要望・不満	4	
	4 行政への要望・不満	4	
	5 観光への期待	2	
	6 発注に対する要望・不満	2	
	7 本渡道路(仮称)不要	1	
	8 車の使い方	1	
	9 その他	10	
合計		195	100%

自由意見

- 地域住民の回答者2,871名のうち、808名(28%)から自由意見をいただいた。内容で区分すると意見数は1,340件に分けられる。
- 本渡道路(仮称)の早期整備に関する意見が、292件(回答者の36%:以下同様)と突出している。
- 行政への要望・不満が127件(16%)、本渡道路(仮称)の必要性に関する意見が118件(15%)等と続いており、全体として道路整備に関する期待が高いことがうかがえる。



自由意見の区分毎の件数

上位項目の意見(例)

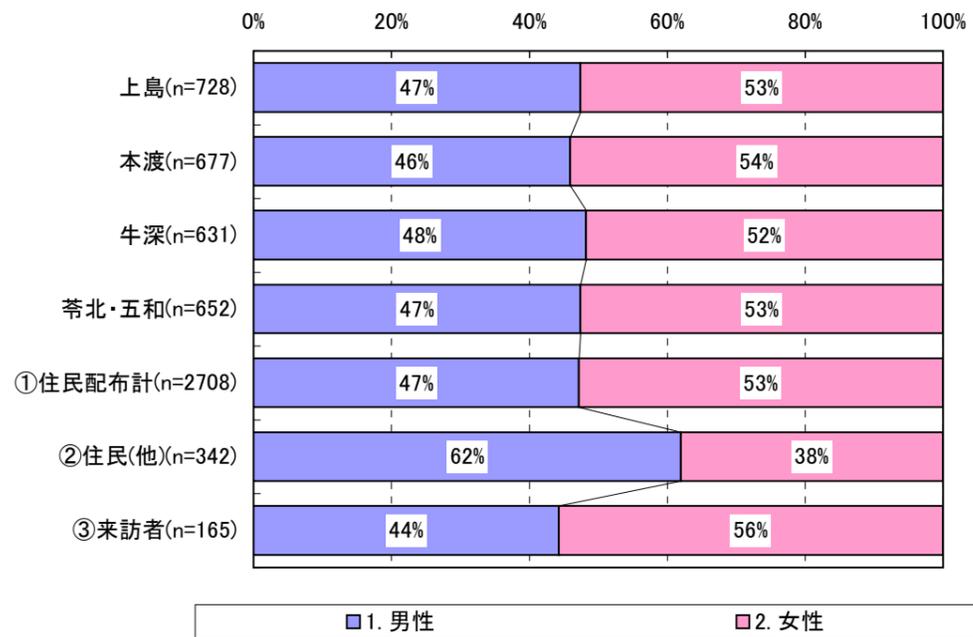
早期整備	天草上島と天草下島の車の通れる道が瀬戸大橋だけというのはこの車社会において信じられない。もう一つ車の通れる道を本渡瀬戸に早く作るべき。 早く天草の幹線道路をつくって、熊本までがせめて、一時間半～一時間でいけるようになればと思う。 一日でも早く熊本天草幹線道路の完成を希望します。よろしく願いいたします。
行政への要望・不満	本渡道路(仮称)を整備するにあたって山程の事をクリアしながらだと思えます。大変なご苦労があるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。私達市民にしても協力出来る事をやっていきたいと考えております。 必要な公共事業なら、活性化につながるので、大変と思えますが、よろしく願いします。
必要性	熊本天草幹線道路は必ず造ってほしいと思っています。近い将来なくてはならない道路だと思っています。 天草における今後の産業としての観光客増加に向けての道路整備が必要である。

回答者の属性

性別

- 回答者の性別は概ね、男性5割、女性5割で地域別の差も見られない。
- 住民(他)に関しては男性が6割を超えているが、来訪者に関しては概ね住民配布計(①)と同じ傾向である。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 男性	345	311	304	309	9	1,278	212	73	
	2 女性	383	366	327	343	11	1,430	130	92	
	合計	728	677	631	652	20	2,708	342	165	
構成比	1 男性	47.4%	45.9%	48.2%	47.4%	45.0%	47.2%	62.0%	44.2%	
	2 女性	52.6%	54.1%	51.8%	52.6%	55.0%	52.8%	38.0%	55.8%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

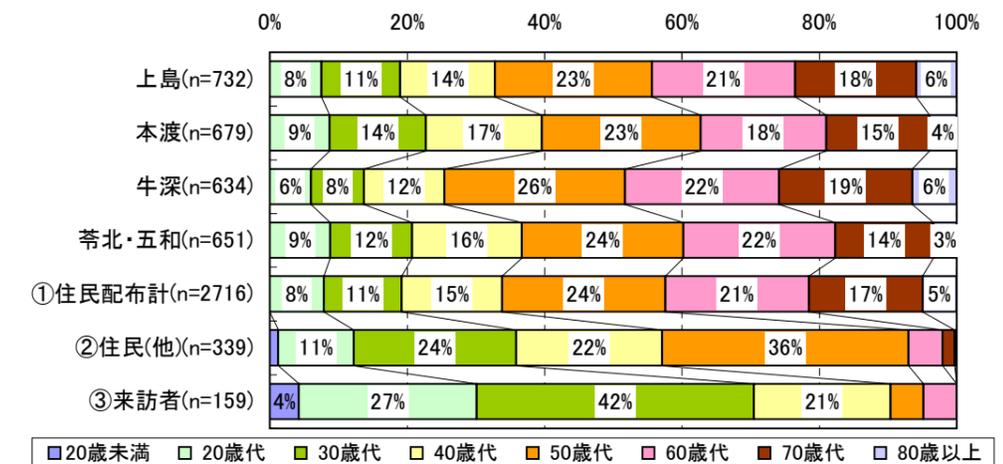


年齢

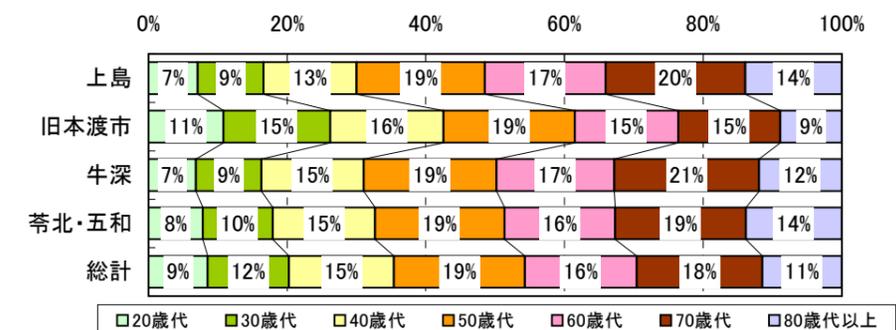
- 回答者の年齢構成は、実際の年齢構成に比べ、50歳代~60歳代の回答者の割合が多くなっている。一方で80歳代以上の回答者が少なくなっている。
- 地域別の回答者の年齢割合は、人口の割合と同じ傾向にある。
- 住民(他)や来訪者は、5割以上が50代未満となっている(住民(他)約6割、来訪者約9割)。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	0 20歳未満							4	7	
	1 20歳代	55	59	38	57	4	213	38	43	
	2 30歳代	84	95	49	78	2	308	81	67	
	3 40歳代	101	115	74	104	3	397	73	33	
	4 50歳代	167	157	167	153	2	646	123	8	
	5 60歳代	153	124	142	144	4	567	17	8	
	6 70歳代	129	102	123	93	4	451	6	0	
	7 80歳以上	43	27	41	22	1	134	1	0	
合計	732	679	634	651	20	2,716	339	159		
構成比	0 20歳未満							1.2%	4.4%	
	1 20歳代	7.5%	8.7%	6.0%	8.8%	20.0%	7.8%	11.2%	27.0%	
	2 30歳代	11.5%	14.0%	7.7%	12.0%	10.0%	11.3%	23.9%	42.1%	
	3 40歳代	13.8%	16.9%	11.7%	16.0%	15.0%	14.6%	21.5%	20.8%	
	4 50歳代	22.8%	23.1%	26.3%	23.5%	10.0%	23.8%	36.3%	5.0%	
	5 60歳代	20.9%	18.3%	22.4%	22.1%	20.0%	20.9%	5.0%	5.0%	
	6 70歳代	17.6%	15.0%	19.4%	14.3%	20.0%	16.6%	1.8%	0.0%	
	7 80歳以上	5.9%	4.0%	6.5%	3.4%	5.0%	4.9%	0.3%	0.0%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

回答者年齢構成



住民年齢構成(H17国勢調査: 上島は旧本渡市除く人口、本渡は旧本渡市全体)

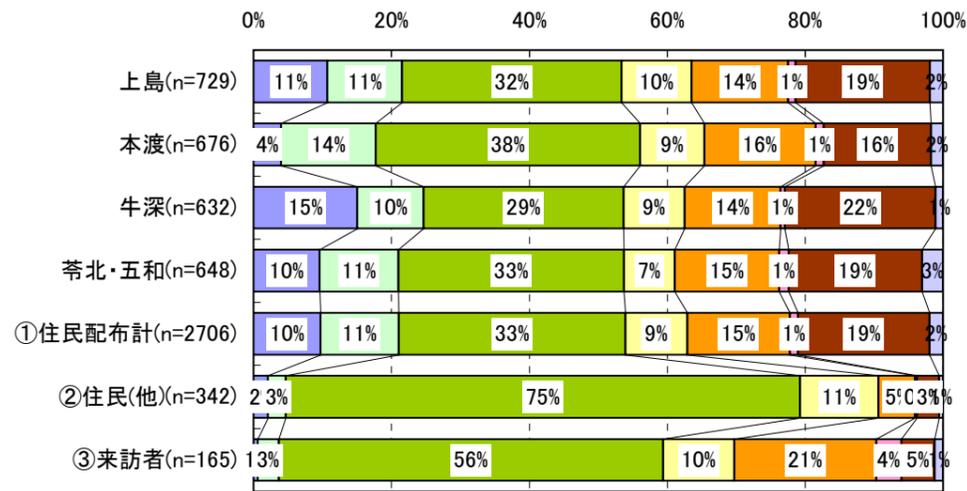


※①住民配布計の構成と比較するため20歳未満は含まない

職業

- 給与所得者が33%と最も多く、無職、主婦、自営業(農林漁業除く)、農林漁業の順になっている。
- 本渡地区では、他地区に比べ給与所得者の割合が高く、無職、農林漁業の割合が低い。牛深方面は、農林漁業の割合が高くなっている。
- 住民(他)、来訪者は、給与所得者が5割を超えている。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 農林漁業	78	27	95	62	1	263	7	1	
	2 自営業(農林漁業を除く)	79	93	61	74	0	307	9	5	
	3 給与所得者(会社員、公務員等)	232	259	183	212	4	890	255	92	
	4 パート、アルバイト	74	63	56	48	1	242	39	17	
	5 主婦	102	109	88	98	6	403	18	34	
	6 学生	8	8	4	9	2	31	1	6	
	7 無職	142	105	138	125	6	516	11	8	
	8 その他	14	12	7	20	1	54	2	2	
合計	729	676	632	648	21	2,706	342	165		
構成比	1 農林漁業	10.7%	4.0%	15.0%	9.6%	4.8%	9.7%	2.0%	0.6%	
	2 自営業(農林漁業を除く)	10.8%	13.8%	9.7%	11.4%	0.0%	11.3%	2.6%	3.0%	
	3 給与所得者(会社員、公務員等)	31.8%	38.3%	29.0%	32.7%	19.0%	32.9%	74.6%	55.8%	
	4 パート、アルバイト	10.2%	9.3%	8.9%	7.4%	4.8%	8.9%	11.4%	10.3%	
	5 主婦	14.0%	16.1%	13.9%	15.1%	28.6%	14.9%	5.3%	20.6%	
	6 学生	1.1%	1.2%	0.6%	1.4%	9.5%	1.1%	0.3%	3.6%	
	7 無職	19.5%	15.5%	21.8%	19.3%	28.6%	19.1%	3.2%	4.8%	
	8 その他	1.9%	1.8%	1.1%	3.1%	4.8%	2.0%	0.6%	1.2%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

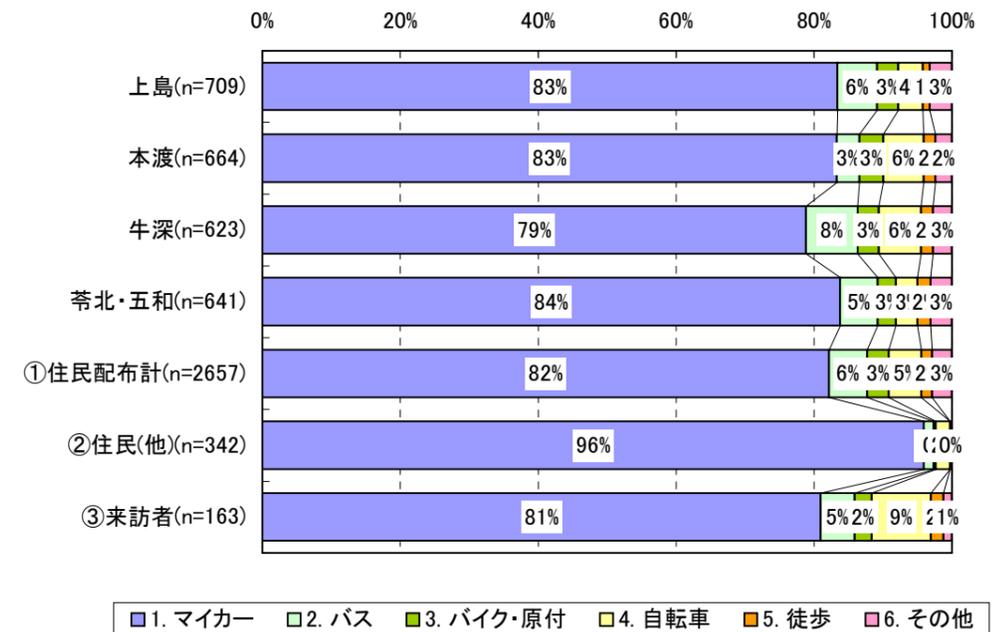


- 1. 農林漁業
- 2. 自営業(農林漁業を除く)
- 3. 給与所得者(会社員、公務員等)
- 4. パート、アルバイト
- 5. 主婦
- 6. 学生
- 7. 無職
- 8. その他

外出されるときによく利用する交通手段

- よく利用する交通手段をマイカーとした方が8割を上回り、自動車交通への依存度が高い。
- 住民(他)のマイカー利用率は9割を超えている。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 マイカー	591	553	491	537	11	2,183	328	132	
	2 バス	41	22	47	35	3	148	5	8	
	3 バイク・原付	22	23	19	17	2	83	1	4	
	4 自転車	25	39	38	20	3	125	7	14	
	5 徒歩	7	11	11	12	0	41	0	3	
	6 その他	23	16	17	20	1	77	1	2	
合計	709	664	623	641	20	2,657	342	163		
構成比	1 マイカー	83.4%	83.3%	78.8%	83.8%	55.0%	82.2%	95.9%	81.0%	
	2 バス	5.8%	3.3%	7.5%	5.5%	15.0%	5.6%	1.5%	4.9%	
	3 バイク・原付	3.1%	3.5%	3.0%	2.7%	10.0%	3.1%	0.3%	2.5%	
	4 自転車	3.5%	5.9%	6.1%	3.1%	15.0%	4.7%	2.0%	8.6%	
	5 徒歩	1.0%	1.7%	1.8%	1.9%	0.0%	1.5%	0.0%	1.8%	
	6 その他	3.2%	2.4%	2.7%	3.1%	5.0%	2.9%	0.3%	1.2%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



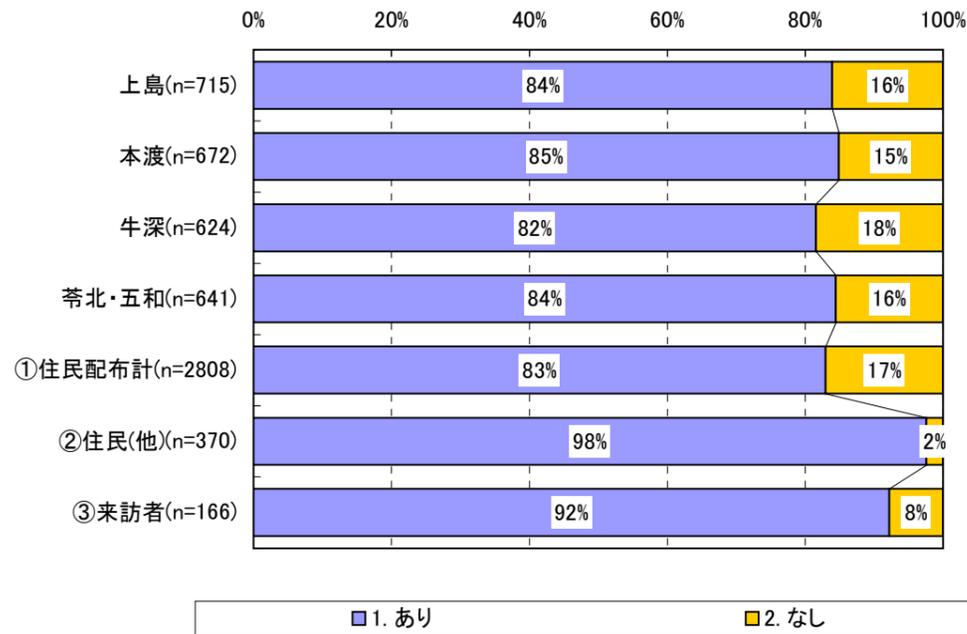
- 1. マイカー
- 2. バス
- 3. バイク・原付
- 4. 自転車
- 5. 徒歩
- 6. その他

お車の利用状況と天草瀬戸大橋の利用について

問1 あなたは、ご自身で自動車・バイクを運転することがありますか？(1つに○)

- 自身で自動車・バイクを運転する割合は8割を上回っており、地域別にも大きな差異は見られない。その割合は、マイカーをよく使う割合とおおむね同程度である。
- 来訪者、住民(他)は9割以上が自身で自動車・バイクを運転している。

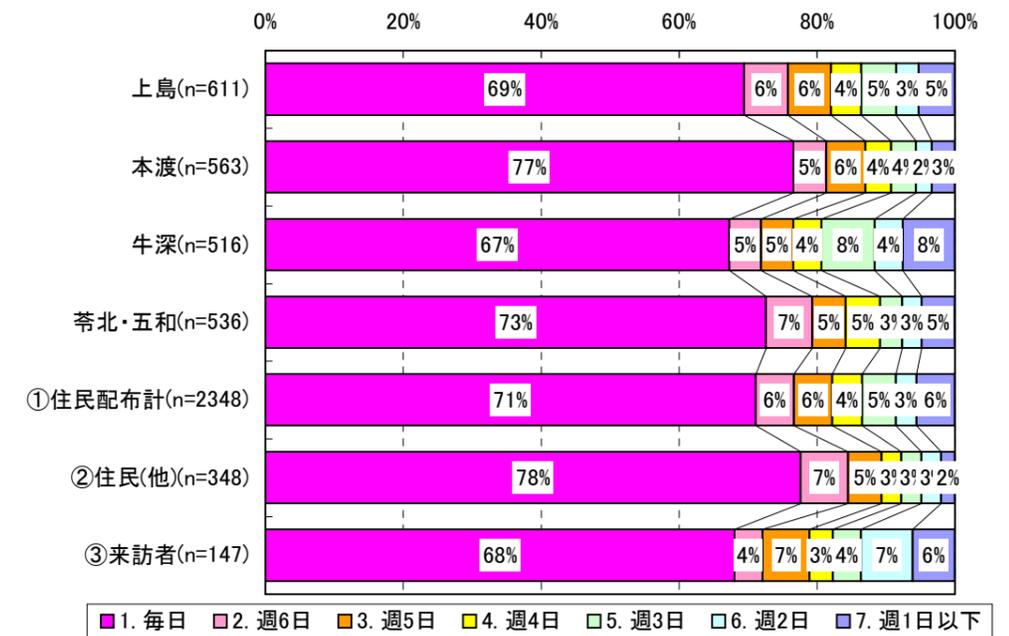
回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 あり	600	570	509	541	109	2,329	361	153	
	2 なし	115	102	115	100	47	479	9	13	
	合計	715	672	624	641	156	2,808	370	166	
構成比	1 あり	83.9%	84.8%	81.6%	84.4%	69.9%	82.9%	97.6%	92.2%	
	2 なし	16.1%	15.2%	18.4%	15.6%	30.1%	17.1%	2.4%	7.8%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問2 あなたは、自動車・バイクをどの程度利用しますか？(1つに○)

- 毎日利用する人が71%、週の半分(4日)以上利用する人はおおむね9割と、日常的な移動に利用されている状況がわかる。
- 地域別には、本渡地区で利用頻度が高く、牛深方面では若干少なくなっている。
- 住民(他)、来訪者も①住民配布計と同じ傾向であった。

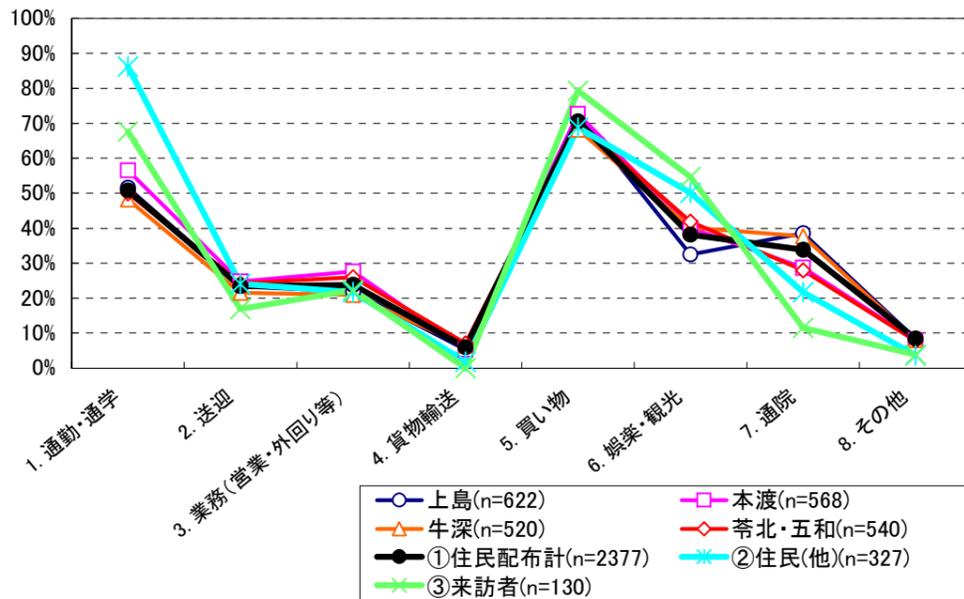
回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 毎日	424	431	347	389	78	1,669	270	100	
	2 週6日	39	27	24	36	4	130	24	6	
	3 週5日	38	32	24	26	11	131	17	10	
	4 週4日	27	21	21	27	6	102	10	5	
	5 週3日	31	20	40	17	7	115	10	6	
	6 週2日	20	13	21	15	1	70	10	11	
	7 週1日以下	32	19	39	26	15	131	7	9	
	合計	611	563	516	536	122	2,348	348	147	
構成比	1 毎日	69.4%	76.6%	67.2%	72.6%	63.9%	71.1%	77.6%	68.0%	
	2 週6日	6.4%	4.8%	4.7%	6.7%	3.3%	5.5%	6.9%	4.1%	
	3 週5日	6.2%	5.7%	4.7%	4.9%	9.0%	5.6%	4.9%	6.8%	
	4 週4日	4.4%	3.7%	4.1%	5.0%	4.9%	4.3%	2.9%	3.4%	
	5 週3日	5.1%	3.6%	7.8%	3.2%	5.7%	4.9%	2.9%	4.1%	
	6 週2日	3.3%	2.3%	4.1%	2.8%	0.8%	3.0%	2.9%	7.5%	
	7 週1日以下	5.2%	3.4%	7.6%	4.9%	12.3%	5.6%	2.0%	6.1%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問3 あなたが、自動車・バイクを利用するときの主な目的は何ですか？(当てはまる番号すべてに○)

- 「買い物」で利用する割合が最も高く、7割になっている。通勤51%、娯楽・観光38%が次ぐ。多様な目的で利用されている状況がわかる。
- 地域別にもおおむね同様の傾向にあるが、本渡地区は通勤通学での利用割合が高くなっている。
- 住民(他)と来訪者は「通勤・通学」で自動車・バイクを利用する割合が最も高い。

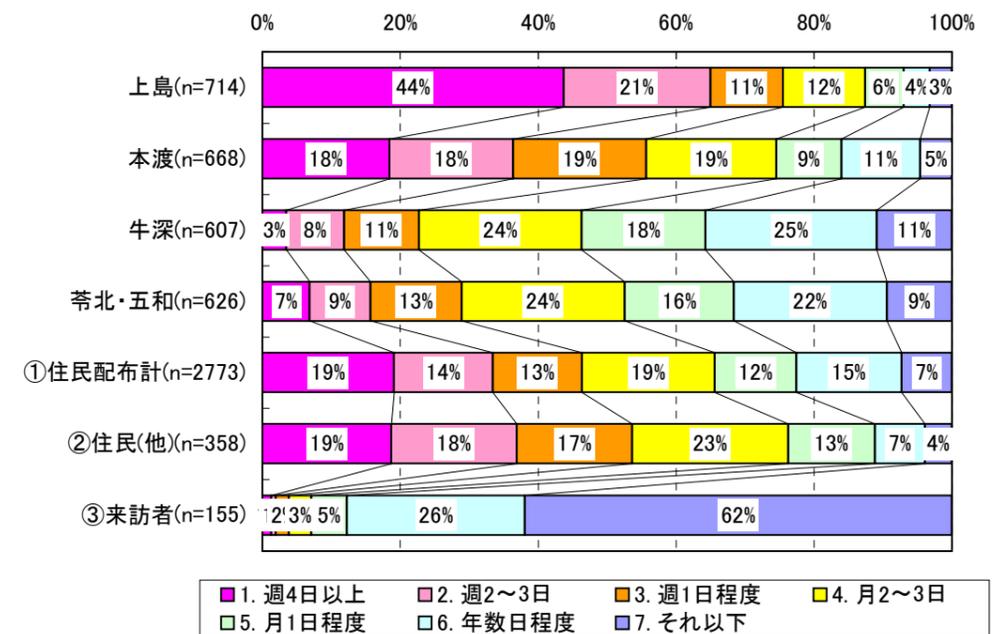
回答内容		上島	本渡	牛深	苅北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 通勤・通学	321	321	251	270	45	1,208	282	88	
	2 送迎	145	141	112	131	29	558	79	22	
	3 業務(営業・外回り等)	136	157	109	140	23	565	71	29	
	4 貨物輸送	33	30	33	38	8	142	6	0	
	5 買い物	452	413	355	379	78	1,677	225	103	
	6 娯楽・観光	202	228	209	226	42	907	164	71	
	7 通院	240	163	196	151	55	805	71	15	
	8 その他	52	45	42	42	20	201	12	5	
	合計	622	568	520	540	127	2,377	327	130	
構成比	1 通勤・通学	51.6%	56.5%	48.3%	50.0%	35.4%	50.8%	86.2%	67.7%	
	2 送迎	23.3%	24.8%	21.5%	24.3%	22.8%	23.5%	24.2%	16.9%	
	3 業務(営業・外回り等)	21.9%	27.6%	21.0%	25.9%	18.1%	23.8%	21.7%	22.3%	
	4 貨物輸送	5.3%	5.3%	6.3%	7.0%	6.3%	6.0%	1.8%	0.0%	
	5 買い物	72.7%	72.7%	68.3%	70.2%	61.4%	70.6%	68.8%	79.2%	
	6 娯楽・観光	32.5%	40.1%	40.2%	41.9%	33.1%	38.2%	50.2%	54.6%	
	7 通院	38.6%	28.7%	37.7%	28.0%	43.3%	33.9%	21.7%	11.5%	
	8 その他	8.4%	7.9%	8.1%	7.8%	15.7%	8.5%	3.7%	3.8%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問4 あなたは、天草瀬戸大橋をどの程度利用しますか？(1つに○)

- 天草瀬戸大橋を利用する割合は、全体では週1日程度以上が約半数、それ以下が約半数となっている。
- 地区別の利用頻度の差は大きく、週1日以上利用する人は、利用頻度が最も高い上島では8割弱、それに次ぐ本渡地区では6割程度になる。一方で、牛深方面、苅北・五和方面の方の利用頻度は少ない。
- 住民(他)は約5割が週1日以上利用しているが、来訪者は年数日程度以下で約9割を占める。

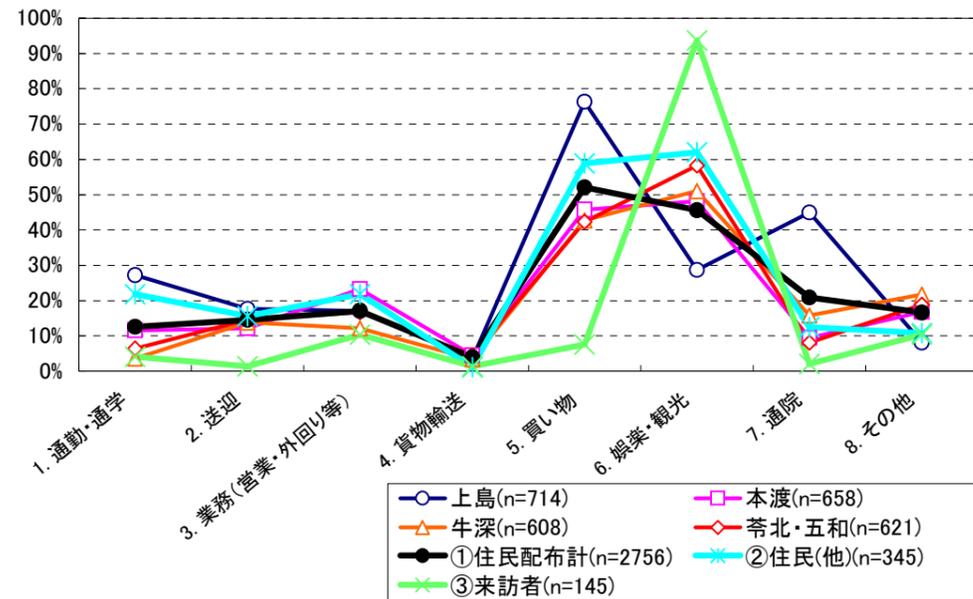
回答内容		上島	本渡	牛深	苅北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 週4日以上	312	123	21	43	30	529	67	2	
	2 週2~3日	152	120	51	55	19	397	65	1	
	3 週1日程度	75	129	66	83	6	359	60	3	
	4 月2~3日	85	126	143	148	32	534	81	5	
	5 月1日程度	40	63	109	99	17	328	45	8	
	6 年数日程度	27	76	151	139	30	423	26	40	
	7 それ以下	23	31	66	59	24	203	14	96	
	合計	714	668	607	626	158	2,773	358	155	
構成比	1 週4日以上	43.7%	18.4%	3.5%	6.9%	19.0%	19.1%	18.7%	1.3%	
	2 週2~3日	21.3%	18.0%	8.4%	8.8%	12.0%	14.3%	18.2%	0.6%	
	3 週1日程度	10.5%	19.3%	10.9%	13.3%	3.8%	12.9%	16.8%	1.9%	
	4 月2~3日	11.9%	18.9%	23.6%	23.6%	20.3%	19.3%	22.6%	3.2%	
	5 月1日程度	5.6%	9.4%	18.0%	15.8%	10.8%	11.8%	12.6%	5.2%	
	6 年数日程度	3.8%	11.4%	24.9%	22.2%	19.0%	15.3%	7.3%	25.8%	
	7 それ以下	3.2%	4.6%	10.9%	9.4%	15.2%	7.3%	3.9%	61.9%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問5 あなたが、天草瀬戸大橋を利用するときの主な目的は何ですか？(あてはまる番号すべてに○)

- 「買い物」で利用する割合が最も高く5割を上回り、娯楽・観光、通院の順になっている。
- 地域差が大きいのが特徴であり、利用頻度の高い上島地区の方が買い物、通院、通勤・通学等日常生活のベースとして利用している状況がわかる。
- 住民(他)は①住民配布計と同様な傾向となっているが、「買い物」、「娯楽・観光」の割合が約6割と高い。
- 来訪者は9割が娯楽・観光目的で利用している。

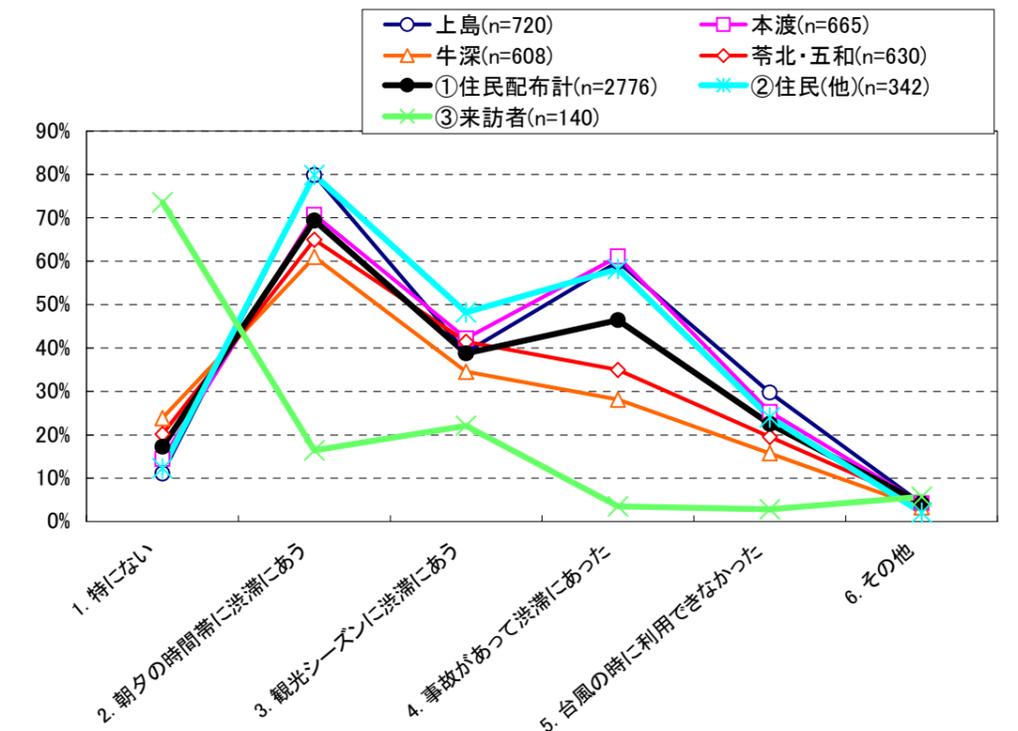
回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 通勤・通学	194	76	22	40	15	347	75	6	
	2 送迎	126	80	84	91	19	400	54	2	
	3 業務(営業・外回り等)	122	153	74	104	18	471	75	15	
	4 貨物輸送	26	30	21	28	3	108	4	2	
	5 買い物	545	301	260	263	67	1,436	203	11	
	6 娯楽・観光	205	317	310	362	62	1,256	214	136	
	7 通院	321	62	96	50	46	575	43	3	
	8 その他	58	111	132	117	39	457	37	15	
	合計	714	658	608	621	155	2,756	345	145	
構成比	1 通勤・通学	27.2%	11.6%	3.6%	6.4%	9.7%	12.6%	21.7%	4.1%	
	2 送迎	17.6%	12.2%	13.8%	14.7%	12.3%	14.5%	15.7%	1.4%	
	3 業務(営業・外回り等)	17.1%	23.3%	12.2%	16.7%	11.6%	17.1%	21.7%	10.3%	
	4 貨物輸送	3.6%	4.6%	3.5%	4.5%	1.9%	3.9%	1.2%	1.4%	
	5 買い物	76.3%	45.7%	42.8%	42.4%	43.2%	52.1%	58.8%	7.6%	
	6 娯楽・観光	28.7%	48.2%	51.0%	58.3%	40.0%	45.6%	62.0%	93.8%	
	7 通院	45.0%	9.4%	15.8%	8.1%	29.7%	20.9%	12.5%	2.1%	
	8 その他	8.1%	16.9%	21.7%	18.8%	25.2%	16.6%	10.7%	10.3%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問6 あなたは、天草瀬戸大橋を利用するときに困ったことはありますか？(あてはまる番号すべてに○)

- 「朝夕の渋滞」70%、「事故による渋滞」47%、「観光シーズンの渋滞」39%と、多くの方が渋滞で困った経験があることがわかる。
- 天草瀬戸大橋の利用頻度が高い本渡地区と上島地区、住民(他)は、「事故による渋滞」で困っている。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 特にない	80	96	145	127	31	479	42	103	
	2 朝夕の時間帯に渋滞にあう	575	470	371	409	100	1,925	273	23	
	3 観光シーズンの渋滞にあう	281	281	210	261	42	1,075	165	31	
	4 事故があつて渋滞にあつた	431	406	171	220	62	1,290	199	5	
	5 台風の時に利用できなかった	214	168	96	123	24	625	82	4	
	6 その他	30	28	20	26	12	116	7	8	
	合計	720	665	608	630	153	2,776	342	140	
構成比	1 特にない	11.1%	14.4%	23.8%	20.2%	20.3%	17.3%	12.3%	73.6%	
	2 朝夕の時間帯に渋滞にあう	79.9%	70.7%	61.0%	64.9%	65.4%	69.3%	79.8%	16.4%	
	3 観光シーズンの渋滞にあう	39.0%	42.3%	34.5%	41.4%	27.5%	38.7%	48.2%	22.1%	
	4 事故があつて渋滞にあつた	59.9%	61.1%	28.1%	34.9%	40.5%	46.5%	58.2%	3.6%	
	5 台風の時に利用できなかった	29.7%	25.3%	15.8%	19.5%	15.7%	22.5%	24.0%	2.9%	
	6 その他	4.2%	4.2%	3.3%	4.1%	7.8%	4.2%	2.0%	5.7%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

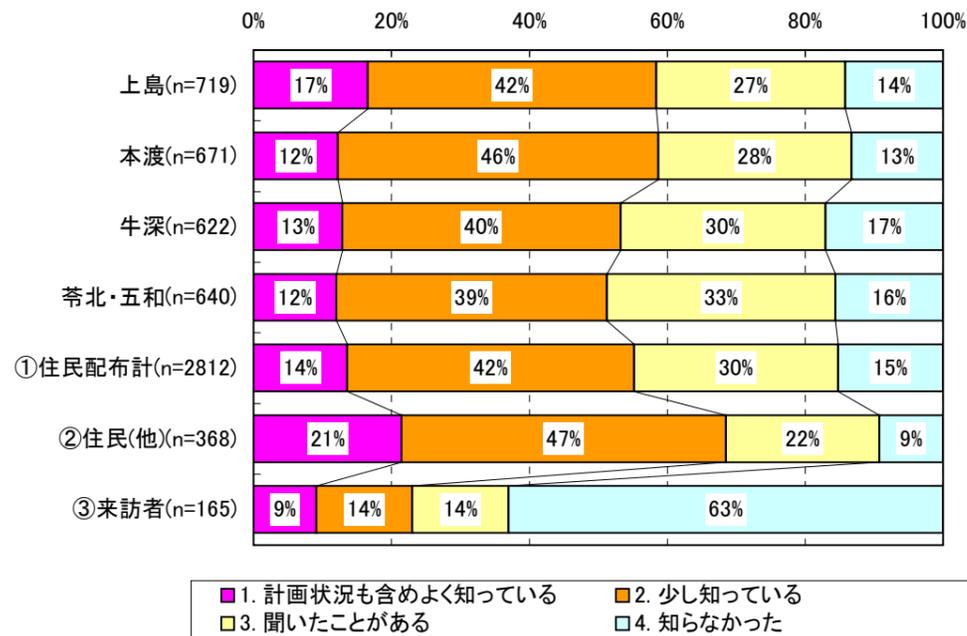


「熊本天草幹線道路」本渡道路(仮称)についてお聞きします。

問7 あなたは、熊本天草幹線道路をご存じですか？(1つに○)

- 「計画状況も含めよく知っている」、「少し知っている」を合わせた割合は6割弱となっている。一方で、15%の方が今回初めて知ったと答えている。
- 住民(他)は、「計画状況も含めよく知っている」、「少し知っている」を合わせて約7割となり、認知度が高い。

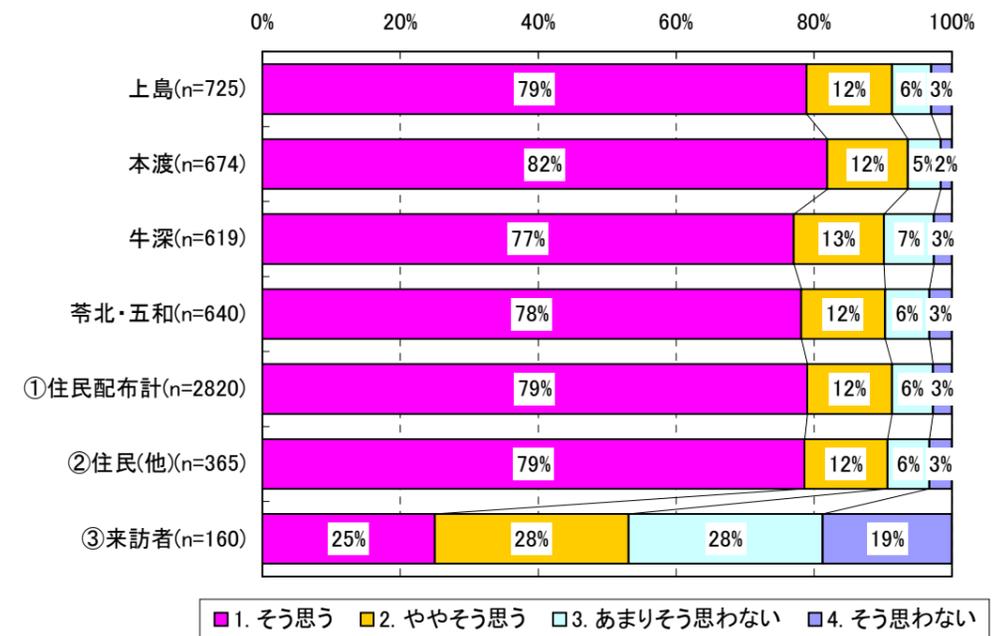
回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 計画状況も含めよく知っている	119	82	80	77	24	382	79	15	
	2 少し知っている	301	312	251	251	54	1,169	173	23	
	3 聞いたことがある	197	188	185	212	50	832	82	23	
	4 知らなかった	102	89	106	100	32	429	34	104	
	合計	719	671	622	640	160	2,812	368	165	
構成比	1 計画状況も含めよく知っている	16.6%	12.2%	12.9%	12.0%	15.0%	13.6%	21.5%	9.1%	
	2 少し知っている	41.9%	46.5%	40.4%	39.2%	33.8%	41.6%	47.0%	13.9%	
	3 聞いたことがある	27.4%	28.0%	29.7%	33.1%	31.3%	29.6%	22.3%	13.9%	
	4 知らなかった	14.2%	13.3%	17.0%	15.6%	20.0%	15.3%	9.2%	63.0%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問8 現在の天草瀬戸大橋に加えて、『新たに上島～下島を結ぶ熊本天草幹線道路』(=本渡道路(仮称))を整備する必要があると思いますか？(1つに○)

- 『新たに上島～下島を結ぶ熊本天草幹線道路』を整備する必要があると思う回答者は、「そう思う」8割と「ややそう思う」1割を合わせると9割を上回り、本渡道路(仮称)に対する期待は大きいといえる。
- 地域別には、本渡地区が他の地区に比べ、必要があると考える割合が若干高い。
- ②住民(他)は、①住民配布計と傾向が類似している。
- 来訪者は「そう思う」、「ややそう思う」と考えている方の割合は5割であった。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
回答数	1 そう思う	572	552	477	500	126	2,227	287	40	
	2 ややそう思う	90	79	81	78	20	348	44	45	
	3 あまりそう思わない	41	32	45	41	9	168	22	45	
	4 そう思わない	22	11	16	21	7	77	12	30	
	合計	725	674	619	640	162	2,820	365	160	
構成比	1 そう思う	78.9%	81.9%	77.1%	78.1%	77.8%	79.0%	78.6%	25.0%	
	2 ややそう思う	12.4%	11.7%	13.1%	12.2%	12.3%	12.3%	12.1%	28.1%	
	3 あまりそう思わない	5.7%	4.7%	7.3%	6.4%	5.6%	6.0%	6.0%	28.1%	
	4 そう思わない	3.0%	1.6%	2.6%	3.3%	4.3%	2.7%	3.3%	18.8%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

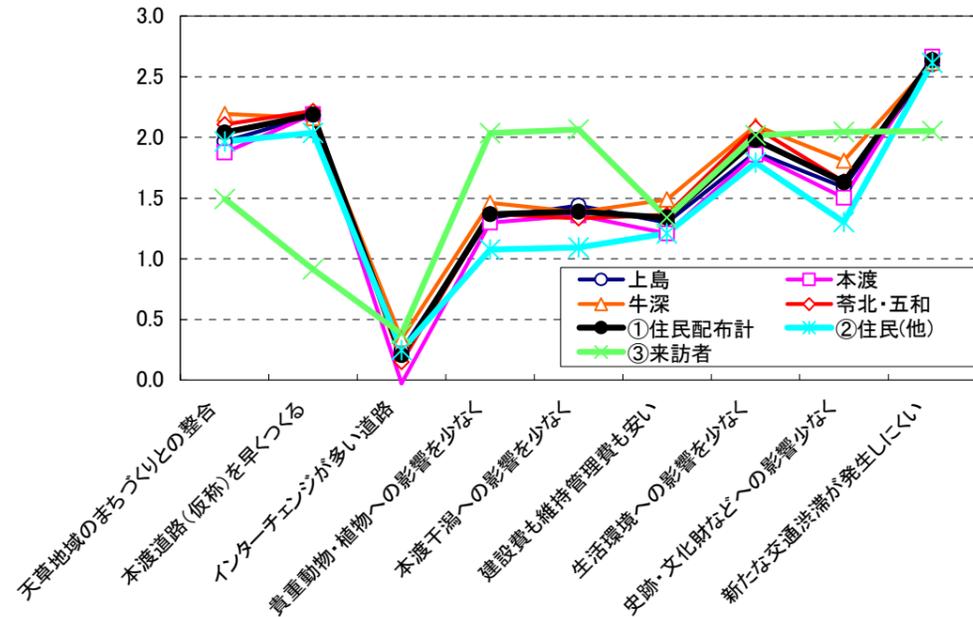


問9 あなたは、本渡道路(仮称)を整備するにあたって、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

- 配慮すべき項目は、「新たな交通渋滞が発生しにくい」2.6、「本渡道路(仮称)を早くつくる」2.2、「天草地域のまちづくりとの整合」2.0、「生活環境への影響を少なく」2.0の順に重要と思う割合が高い。
- 項目毎の評価の地域差は若干あるが、重要性が高いと評価する項目は同じ傾向にある。
- ②住民(他)は、①住民配布計と傾向が類似している。
- 来訪者は、「貴重動物・植物への影響を少なく」、「本渡干潟への影響を少なく」の配慮項目を重要視している方が多い。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
評価点	1 天草地域のまちづくりとの整合	2.0	1.9	2.2	2.1	2.2	2.0	2.0	1.5	
	2 本渡道路(仮称)を早くつくる	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.0	0.9	
	3 インターチェンジが多い道路	0.2	0.0	0.3	0.1	0.8	0.2	0.2	0.4	
	4 貴重動物・植物への影響を少なく	1.3	1.3	1.5	1.4	1.5	1.4	1.1	2.0	
	5 本渡干潟への影響を少なく	1.4	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.1	2.1	
	6 建設費も維持管理費も安い	1.3	1.2	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.3	
	7 生活環境への影響を少なく	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1	2.0	1.8	2.0	
	8 史跡・文化財などへの影響を少なく	1.6	1.5	1.8	1.6	1.7	1.6	1.3	2.0	
	9 新たな交通渋滞が発生しにくい	2.6	2.7	2.6	2.6	2.7	2.6	2.6	2.1	
回答数	1 天草地域のまちづくりとの整合	635	602	553	541	131	2,462	281	97	
	2 本渡道路(仮称)を早くつくる	644	623	552	563	138	2,520	289	91	
	3 インターチェンジが多い道路	617	594	536	536	128	2,411	268	95	
	4 貴重動物・植物への影響を少なく	624	618	542	552	129	2,465	265	108	
	5 本渡干潟への影響を少なく	621	613	538	541	130	2,443	260	107	
	6 建設費も維持管理費も安い	622	598	544	548	133	2,445	262	100	
	7 生活環境への影響を少なく	646	624	558	573	136	2,537	269	107	
	8 史跡・文化財などへの影響を少なく	628	615	542	556	130	2,471	267	109	
	9 新たな交通渋滞が発生しにくい	656	638	568	580	141	2,583	276	110	

選んだ評価項目により、重要3から1ポイント毎に下げ、重要でない3とした評価点の平均値を算出

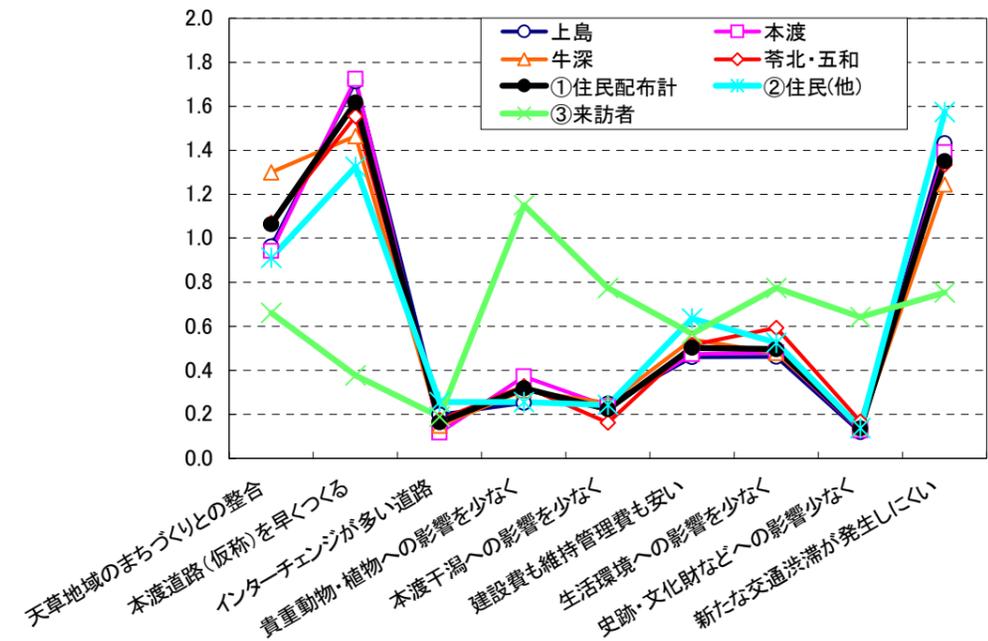


問10 問9 の項目のうち、あなたが、特に重要と考える上位3項目を選んで番号を記入ください

- 優先すべき項目は、「本渡道路(仮称)を早くつくる」、「新たな交通渋滞が発生しにくい」、「天草地域のまちづくりとの整合」の順になっている。
- 項目毎の優先度の地域差は若干あるが、優先度の順位は同じ傾向にある。
- 優先すべきとされた3項目は、重要性の評価も高いことから、ルート帯の評価においてはこれらの3項目を特に重視することが望まれる。
- 一方で、重要性が高かった「生活環境への影響を少なく」などの優先度は低い。これは、「他の項目も配慮できるのであれば、当該項目に配慮することが重要」と考えて評価していることに起因していると考えられる。
- また、来訪者は「貴重動物・植物への影響を少なく」、「新たな交通渋滞が発生しにくい」、「生活環境への影響を少なく」、「本渡干潟への影響を少なく」を優先項目と考えている。地域住民と比較すると、環境関連の項目に関する関心が高い状況がわかる。

回答内容		上島	本渡	牛深	苓北・五和	不明・他	①住民配布計	②住民(他)	③来訪者	備考
評価点	1 天草地域のまちづくりとの整合	0.96	0.94	1.30	1.07	1.14	1.06	0.91	0.66	
	2 本渡道路(仮称)を早くつくる	1.71	1.72	1.47	1.55	1.54	1.62	1.32	0.38	
	3 インターチェンジが多い道路	0.20	0.12	0.15	0.17	0.24	0.16	0.26	0.19	
	4 貴重動物・植物への影響を少なく	0.25	0.37	0.31	0.33	0.37	0.32	0.26	1.15	
	5 本渡干潟への影響を少なく	0.25	0.24	0.25	0.16	0.17	0.22	0.24	0.77	
	6 建設費も維持管理費も安い	0.46	0.47	0.54	0.51	0.63	0.50	0.64	0.57	
	7 生活環境への影響を少なく	0.46	0.48	0.48	0.59	0.39	0.50	0.52	0.77	
	8 史跡・文化財などへの影響を少なく	0.12	0.13	0.14	0.17	0.11	0.14	0.14	0.64	
	9 新たな交通渋滞が発生しにくい	1.43	1.39	1.24	1.33	1.26	1.35	1.57	0.75	

優先度1:3ポイント、優先度2:2ポイント、優先度3:1ポイントとして評価点を加算、有効回答数で除算



【参考】 アンケート調査票(問 9、問 10)

問9 あなたは、本渡道路(仮称)を整備するにあたって、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？
 下記の9つの各項目に、「重要」から「重要でない」までの7段階が設けられています。7段階の中からあなたのお考えに最も近いもの1つを選び○を付けて下さい。なお、9項目以外に配慮すべき項目があれば10,11にご記入下さい。

項目	重要 ←————→ 重要ではない	よくわからない
(1) 天草地域のまちづくりと整合の取れる道路をつくる。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(2) 本渡道路(仮称)を早くつくる。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(3) 乗り降り箇所(インターチェンジ)が多い道路をつくる。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(4) 貴重な動物・植物の生息域への影響を少なくする。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(5) 本渡干潟への影響を少なくする。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(6) 建設費も維持管理費も安い道路をつくる。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(7) 生活環境への影響(住宅・学校・病院等への騒音・振動等)を少なくする。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(8) 史跡・文化財・神社・仏閣・墓地などへの影響を少なくする。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(9) 新たな交通渋滞が発生しにくいようにする。	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(10)	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*
(11)	1 .. 2 .. 3 .. 4 .. 5 .. 6 .. 7	*

問10 問9 の項目のうち、あなたが、特に重要と考える上位3項目を選んで番号を記入ください。

1 番目 2 番目 3 番目

■関係者ヒアリング結果

1. 調査の目的

熊本天草幹線道路（本渡道路〔仮称〕）に対する期待、計画するにあたり配慮すべき事項等に関する地域全体としての意見は、地域住民等へのアンケート調査により把握しています。

本ヒアリング調査では、主に検討委員会の委員が所属していない機関を対象とし、天草地域の道路を利用する団体などの意見を把握することを目的とします。

2. 調査対象と主な視点

ヒアリング調査対象とヒアリング時の主な視点は以下の通りです。

表 調査対象候補とヒアリング時の主な視点

調査対象	主な視点
消防	救急医療や災害時など緊急時の対応に対するご意見
運送事業者	物流支援の視点からのご意見
バス事業者	交通事業者の視点からのご意見

3. 質問内容

各対象者に対しては、以下の6項目について質問しました。

【質問内容】

- ① 業務等における自動車の利用の仕方(目的、利用区間、頻度等)
- ② 現況の道路を利用して困っていること
- ③ 天草瀬戸大橋を利用するときに困ったこと
- ④ 本渡道路(仮称)が整備されることに対して期待すること
- ⑤ 本渡道路(仮称)を整備する場合に優先して欲しいこと
- ⑥ 本渡道路(仮称)を整備するにあたっての配慮事項

4. ヒアリング調査実施日

ヒアリング調査は、下記の日程で実施しました。

表 関係者ヒアリング調査実施日

調査対象		調査日
消防	天草広域連合	1月15日(金)
	中央消防署・消防本部	13:15~13:45
運送事業者	(社)熊本県トラック協会	1月15日(金)
	天草支部	14:00~15:00
バス事業者	九州産交バス株式会社	1月14日(木) 11:00~11:30

5. 調査結果

- ・天草瀬戸大橋については、全ての団体が「朝夕の渋滞」や「事故などによる渋滞」で困っている。
- ・本渡道路(仮称)に対しては、「早期整備による渋滞解消」を望む声が多い。

表 ヒアリング調査結果一覧

質問内容	天草広域連合(消防)	(社)熊本県トラック協会	九州産交バス株式会社
①業務等における自動車の利用の仕方(目的、利用区間、頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> ・天草下島(本渡市街地)に病院が集中しているため、倉岳方面の緊急車両が病人等を搬送する場合は、天草瀬戸大橋と通過する必要がある。 ・上記のような車両は、搬送完了後は、一般車両と同じ扱いになるため、渋滞等に巻き込まれるとなかなか分署等に帰ることができない。 ・緊急出動を行うとき、時間があまり変わらない代替路があれば、事故等による影響を考慮し、2方向から目的地に向かうこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本方面への運搬が多い。 ・鮮度等が求められるもの(農産物、魚介類、花等)については、スピード感が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各方面を通超している路線バスと、熊本方面の快速バスがある状況。
②現況の道路を利用して困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーラー等の場合、曲がりにくい交差点がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
③天草瀬戸大橋を利用するときに困ったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の渋滞。 ・事故などによる渋滞。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の渋滞。 ・事故などによる渋滞。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の渋滞。 ・事故などによる渋滞。
④本渡道路(仮称)が整備されることに対して期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・代替路の確保。 ・早期整備による渋滞解消。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、朝夕の渋滞を回避するため、早朝から勤務し配達することがあり、人件費のコスト増に繋がっているため、早期整備による渋滞解消を御願ひしたい。 ・大型トレーラー等も走りやすい道路をつくってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本方面への時間短縮効果。 ・マリンビューもなくなっている状況であるため、幹線道路の整備次第で増便する可能性もあると思っている。 ・観光の目玉にもなるシンボリックな橋をつくってほしい。
⑤本渡道路(仮称)を整備する場合に優先して欲しいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・代替路の確保。 ・早期整備による渋滞解消。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期整備による渋滞解消。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本方面への時間短縮効果。
⑥本渡道路(仮称)を整備するにあたっての配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・代替路の確保。 ・早期整備による渋滞解消。 ・緊急時は、通行車両を両端に寄せ、中央を走行する場合もあるため、広幅員の道路をつくってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期整備による渋滞解消。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他県も含めた広域的な視点での計画を御願ひしたい。